



# 看護部通信



2022年 4 月

2022年、いよいよ新年度がスタートしました。今年の春は例年に比べ、なかなか気温が上がらず、寒い日が続いています。今の世界の社会情勢に不安を抱えながら、心も寒くなっていますね。

しかし、リハセン看護部では今年度、新規採用者6名と、循脳センターからの異動・交流者3名を迎えることができ、心強い春です。令和4年度も看護部一丸となって患者様のために頑張っていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

(看護管理室)

## 看護部長 T

当センターは今年で25年を迎えます。リハセンと共に歩んできたスタッフも、もう40代以上のベテランぞろいです。新型コロナウイルス感染症の影響で、組織としても一体感を味わえるような親睦の場が少なくなっていますが、看護部の理念・・・「患者さんの権利の尊重を基本とし、身体やこころの障害を受け止めながら、その人らしさを失わず、生活の再構築ができるようおもしろいのある看護サービスに努める」を実現するための職場環境を整えていきたいと思っています。助けて頂くことがたくさんあると思いますが、みなさんよろしくお願いいたします！！



## 看護部副部長 K

この度、新たな職責を担うこととなりました。看護管理業務が主な職務となりますが、未経験ゾーンに入るわけですから、神経が張り詰め心は大きく揺れています。きっと入職・異動する方々も同じ気持ちではないでしょうか。

わたしは32年前、優しく可愛い看護師になりました。新人教育のなかで、看護観を発表する機会もありましたが、実際に働きだしてからは、理想と現実の違いに大きく悩まれた経験もありました。以降、看護観について考える機会はほとんどありませんでしたが、臨床から離れ、管理者としての仕事について悩んだとき、看護師を続けること自体に迷いが生じたとき、自分の看護観に立ち返ることで考えが整理できることを仲間から教えてもらいました。皆さんも、自分が大切にしたい看護観を思い出してみませんか。



## 看護師長 S

私が看護の仕事をする際に大切にしていることは「目配り、気配り、心配り」です。この言葉は看護師8年目の時に勤めていた部署の師長さんから教わりました。その時から患者さんに対して、目を配り、気を配り、心を配って看護ケアすることを意識し実践してきました。その後、経験を重ねいろいろな役割を担うようになり、患者さんに対してだけではなく、一緒に働くスタッフや多職種、職場環境、医療材料や器材など、仕事をするうえで関わる全てに対して、「目配り、気配り、心配り」が必要であると感じるようになりました。看護師長の役割は広い視野で多角的に「目配り、気配り、心配り」が求められると思います。不安はたくさんありますが、スタッフのみなさんと共に働きやすい職場を目指して頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## 看護師長 T

私は、もともと認知症看護が好きで、このリハセンが開設するときに募集し採用となりました。1年間は他病院で研修、その後社会復帰科勤務を経て、希望であった認知症病棟に配属となりました。全ての科を経験し、この度4月から医療相談連携室にて管理職の新たな一歩をふみだします。病棟業務とは違い、未知の世界であり迷いながら進むと思います。自分に「何とかなる」「大丈夫」と言い聞かせながら業務を行っていきたいと思います。皆さんにご迷惑をおかけすると思いますが、ご助言をいただきながら勤務したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

